

会 報

鳥 取

第 25 号

2011年 8月



山陰海岸ジオパーク
浦富海岸（鴨ヶ磯）

目 次	新任挨拶（鳥取労働局職業安定部長）	2	平成22年度SP受講者データ	10
	平成23年度事業計画書	3	平成22年度SSP事業実施状況	11
	平成23年度SP事業計画	4	センター紹介	12
	平成23年度SSP事業計画	5	趣味のひとつ	13
	平成23年度事業実施状況	6~7	会員のひろば	14
	平成22年度下期事業実施状況	8~9	SP講習を受講して	15

社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

就任のごあいさつ



鳥取労働局

職業安定部長 佐藤 敏之

このたび、平成23年4月1日付けで鳥取労働局職業安定部長を拝命いたしました。

いわずと知れた鳥取砂丘、日本百名山の一つである大山、世界ジオパークに認定された山陰海岸などの大自然、そして日本海の幸が豊富で、二十世紀梨、

らっきよ、すいかなどの農産物が豊かなこの素晴らしい環境に恵まれた鳥取の地で勤務できることを心から嬉しく思っております。

さて、シルバー人材センター事業については、行政刷新会議における事業仕分けにより平成23年度予算が大幅に削減され、シルバー人材センター事業をめぐる



事業運営環境は非常に厳しい状況となっております。

その一方で、厚生労働省において開催された「今後の高齢者雇用に関する研究会」の報告書において、シルバー人材センターを積極的に活用し就業機会の確保及び職域の拡大を図る必要があるとして、シルバー人材センターの重要性に言及しています。

私が今現在居住している公務員住宅において、いきなり自治会の会長に任命されたのですが、樹木の剪定、草取りを従来からシルバー人材センターに依頼しており、今年も5月にやって頂きました。非常に丁寧な仕事ぶり、住宅内がきれいになったと住民一堂喜んでおります。また数年前に居住していた埼玉の公務員住宅においてもシルバー人材センターの方々にお世話になっておりました。もうシルバー人材センターの皆様



方の存在なくしては日々の暮らしは考えられません。

確かに今現在はシルバー人材センターを取り巻く状況は厳しいものがありますが、しかしこれからの高齢化社会において、その重要性が高まっていくことは間違いないものと思っております。

今後とも、私ども職業安定行政にご理解とご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

平成二十三年度事業計画書

基本方針

少子高齢化の進行により、近い将来、四人一人が高齢者となる状況の中、国の行財政改革の中で、地方行政機関の逼迫した財政状況による補助金の減額、特に一昨年から続く事業仕分け作業による予算要求の大幅な縮減などによりシルバー人材センターの事業運営は厳しい状況が続いておりシルバー事業発足以来の存亡の危機といえるでしょう。

このような中、シルバー人材センターは、活力ある高齢社会を支える地域の中核的組織として、その果たすべき役割は益々重要となつてきており、今日では全国約八十万人の会員が働くことを通じて健康で生き甲斐のある社会を実現し、高齢者医療費の抑制や介護予防の推進にも貢献してきたところです。

本県におきましては、厳しい状況下ではありましたが、各拠点センターと連携を図りながら、地域社会に密着したシルバー事業の推進と効率的な事業運営に努めシルバー人材センター事業の一層の充実発展に努めて参ります。

事業実施計画

一 安全・就業推進事業

「安全・安心なシルバー事業」を推進するため次の事業を実施する。

- (一) 安全・適正就業推進委員会の開催
- (二) 安全パトロール担当者会議の開催
- (三) 安全・適正就業研修会の開催
- (四) 安全パトロール指導員による巡回相談

二 普及啓発事業

- (一) 連合会機関誌の発行(年二回)
- (二) シルバー事業普及啓発月間(十月)の行事
- (三) ポスター、各種普及啓発リーフレットの作成・配付
- (四) ホームページの充実

三 就業開拓事業

- (一) 就業機会開発推進委員会の開催
- (二) 就業開拓推進員の配置
- (三) ホワイトカラー就業機会開発員の配置

四 交流研修事業

- (一) 鳥取県シルバー経験交流大会
- (二) 連合役職員研修

五 シルバー派遣事業

- (一) シルバー派遣事業の推進
- (二) 派遣事業運営委員会の開催

六 福祉・家事援助サービス

- (一) 研修会の開催
- (二) 普及啓発

七 指導相談事業

八 鳥取県シルバー人材センター事業推進連絡会議の開催

九 企画提案方式事業

- 実施センター
- (社)鳥取市シルバー人材センター
(単独型複合分野く介護・子育て)
- (社)倉吉市シルバー人材センター
(単独型単独分野く介護)

(単独型単独分野く子育て)

十 シニアワークプログラム地域事業の推進

- 重点対象講習 九会場講習人員百八十人
- 通常講習 六会場講習人員百四十人

十一 シニア就業支援プログラム事業の推進

平成23年度シニアワークプログラム地域事業 実施計画

シニアワークプログラム地域事業は、(社)鳥取県シルバー人材センター連合会が活動拠点の協力のもと、多種多様な技能講習を事業主団体と連携を図りながら実施する事業です。

講習の種類は、重点講習と通常講習の2種類となりますが、いずれも40時間を超える講習です。昨年までの短期講習(20時間を越え40時間以内)は今年度は実施しません。

平成23年度は、重点講習9回(介護講習3回を含む)、通常講習6回を計画し、順次実施しております。

1. 重点講習

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員
技能講習				
造園アシスタント1	鳥取会場	6月13日～6月23日	9日間	25名
造園アシスタント1	米子会場	6月27日～7月7日	9日間	25名
警備業務アシスタント	鳥取会場	10月7日～10月19日	8日間	20名
造園アシスタント2	米子会場	10月11日～10月21日	9日間	25名
造園アシスタント	倉吉会場	10月24日～11月4日	9日間	20名
造園アシスタント2	鳥取会場	11月7日～11月17日	9日間	25名
介護講習(2級課程)				
訪問介護員養成研修	米子会場	6月6日～7月14日	24日間	20名
訪問介護員養成研修	鳥取会場	8月24日～10月6日	24日間	20名
訪問介護員養成研修	倉吉会場	10月5日～11月16日	24日間	20名

2. 通常講習

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員
経理事務補助	米子会場	5月23日～6月2日	9日間	20名
経理事務補助	鳥取会場	6月16日～6月28日	9日間	20名
経理事務補助	倉吉会場	8月29日～9月7日	8日間	20名
経理事務補助	境港会場	9月5日～9月16日	9日間	20名
室内装飾アシスタント	倉吉会場	9月20日～9月30日	8日間	20名
保育・子育て支援	米子会場	11月21日～12月1日	8日間	20名



平成23年度

シニア就業支援プログラム事業実施計画

本年度も厚生労働省鳥取労働局の委託事業「シニア就業支援プログラム事業」を受託し、実施しています。

企業・団体等を退職した55歳以上の方の技術・技能・ノウハウ等を登録し、雇用・就業等の社会参加ニーズと企業・団体・地域コミュニティ等の人材ニーズをマッチングし、再就職など地域社会への参加を支援する事業です。

【事業目標】

・登録者数

一、〇〇〇人以上

・登録者の雇用就業率

20%以上

・ワークショップや就業支援講座への参加率

50%以上

を達成すべく、県内3地区（東・中・西部）で11回開催するセミナーのほか、ワークショップ・相談会の実施などを計画しています。

【事業実施期間】

平成23年4月1日～平成24年3月31日

【事業実施計画】

- ・県内各市町村役場、商工会議所、県商工連合会機関紙等にSSP事業案内の記事掲載
- ・ハローワークをはじめ市民利用施設、シルバー人材センターへのポスター掲示、リーフレット・チラシ設置等により、広報及び会員の登録を勧奨

- ・企業・団体等の地域社会ニーズをアンケートや訪問調査によりシニアの求人情報を収集
- ・地域ネットワークの構築、ワークショップやセミナー及び相談会等などの活動を行います。

【ワークショップ・セミナーの開催計画】

【ワークショップ】

9～10月	米子市会場	定員20名（予定）
11～2月	米子市会場	定員20名（予定）
24年2月	鳥取市会場	定員10名（予定）

【セミナー】

5月31日	米子市会場	41名（受講）
6月8日	米子市会場	42名（受講）
6月24日	鳥取市会場	47名（受講）
7月6日	鳥取市会場	47名（受講）
9月14日	倉吉市会場	30名（予定）
10月20日	米子市会場	50名（予定）
11月2日	米子市会場	50名（予定）
11月16日	鳥取市会場	50名（予定）
12月8日	鳥取市会場	50名（予定）

（平成24年）

1月19日	米子市会場	50名（予定）
1月26日	米子市会場	50名（予定）

を計画しています。

【相談会・相談日】について

- ・登録会員との「相談会」を東部地区2回、中部地区1回、西部地区2回を開催予定
- ・各地区の「相談日・時刻」は鳥取（東部）地区 第2・4水曜日

倉吉（中部）	地区	第2・4金曜日	13：00～14：00	11：00～12：00
米子（西部）	地区は毎日（平日のみ常設）		9：00～12：00	13：00～16：30

《前日迄に電話等で申込が必要》
を設定しています。

また、登録会員自身が簡単なパソコン操作で適性検査を受けることもできます。



平成二十三年
事業実施状況

第一回通常総会

六月九日(木)、米子市において第一回通常総会が開催されました。



総会は、宇野連合会会長挨拶に続いて、来賓としてお迎えした佐藤鳥取労働局長職業安定期長様からお祝辞を賜りました。続いて議長に(社)智頭町シルバー人材センター理事長小林實夫氏を選出し次の議案について審議が行われ、いずれも原案のとおり可決承認されました。

第一号議案

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会平成二十二年収支補正予算書(案)について

第二号議案

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会平成二十二年事業実施報告書(案)及び収支決算報告(案)について「監査報告」

第三号議案

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会平成二十三年収支補正予算書(案)について

第四号議案

第七期役員を選任について

第五号議案

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会定款の一部変更について



平成23年度
安全・適正就業研修会

平成23年7月22日(金)に倉吉市において、平成23年度安全・適正就業研修会が開催されました。



宇野連合会長の挨拶に続き、平成23年度の安全標語の表彰が行われ、鳥取市シルバー人材センターの石田美千子さんの『気の緩み慣れが大敵事故を呼ぶ』が優秀作品に選ばれ、他に入選5作品、佳作5作品が同時に発表されました。基調講演では、智頭町シルバー人材センター理事長の小林實夫氏より『安全就業に思う』の講演があり、その後、伊藤連合会事務局長より『安全就業とは』と題して事例発表がありました。

休憩をはさんで、倉吉保健所長の吉田良平氏の『熱中症の予防』と米子広域シルバー人材センターの井元敏明氏の『高齢者の血糖値管理と食生活』についての講話があり、最後

に安全・適正就業宣言の唱和を行い、研修会を終了しました。

安全就業標語の表彰作品

「優秀作品」

気の緩み 慣れが大敵 事故を呼ぶ

(社)鳥取市シルバー人材センター

石田 美千子

「入選作品」

過信する 心に事故は しのび寄る

(社)倉吉市シルバー人材センター

堀 和子

不安作業 やめる勇気が 身を守る

(社)北栄町シルバー人材センター

坂 根 加代子

まあいいか 甘い気持ちか 事故まねく

(社)鳥取市シルバー人材センター

西 原 久 雄

あわてるな ちよっと一息 この目で確認

(社)鳥取市シルバー人材センター

野 口 浩 史

あわてるな 油断慢心 事故のもと

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

岩 崎 圭 甫

「佳作作品」

慣れと油断が事故のもと

初心に帰って安全作業

勇気だし

掛けたひとこと 友救う

石 塚 確 幸

(社)南部広域シルバー人材センター

上 田 香

無理をせず 安全確認 身体守る

(社)大山町シルバー人材センター

船 田 ます子

危ないと 思った時は 即改善

(社)大山町シルバー人材センター

亀 井 富士子

就業時の 慣れと手抜きが 重大故に

(社)智頭町シルバー人材センター

西 川 敏 博

合同面接会の開催

シニアワークプログラム地域事業の一環として、地域のハローワークの共催を得ながら、各種講習会の修了者及びハローワーク通所者と一般の高年齢求職者を対象に、地域別の合同面接会を順次実施しております。

今年度は、東部地区及び西部地区については、それぞれ年2回、中部地区については年1回計画をしており、東部地区及び西部地区の第1回目を左記の日程で実施しました。

◎東部地区

日 時 平成23年7月13日(水)
場 所 白兔会館

◎西部地区

求人 3社
求職者 101名
共催 ハローワーク鳥取

日 時 平成23年7月21日(木)
場 所 ホテルサンルート米子
求人 9社
求職者 101名
共催 ハローワーク米子



平成22年度 下期事業実施状況

第2回通常理事会 及び第2回通常総会

平成23年
3月17日(木)
及び3月25
日(金)に鳥取
市において
通常理事会
及び通常総
会が開催さ
れました。



次の議案
について審
議が行われ
いずれの議
案も原案ど
おり可決承認されました。

第一号議案

平成22年度収支補正予算書(案)について

第二号議案

平成23年度事業計画(案)について

第三号議案

定款変更(案)について

第四号議案

職員給与規程の一部改訂(案)について

第六号議案

会費規程の変更(案)について

第七号議案

平成23年度収支予算書(案)について

報告事項について

ア 平成23年度シニアワークプログラム

イ 平成23年度シニア就業支援プログラ

ム事業実施計画(案)について

ウ 平成22年度事業実施状況・実施概要

について



緊急理事長・

事務局長会議の開催

平成
23年1
月19日
(水)倉吉
市にお
いて緊
急の理
事長・
事務局
長会議
を開催
しまし
ました。



宇野
連合会
会長挨
拶に続
き、花
倉鳥取
労働局
職業安
定部職

業対策課長補佐より「平成23年度高齢者就業
対策について」説明を受けました。

引き続き厚生労働省から示された「平成23
年度シルバー事業の対応方針について」をベ
ースとした議論を交わしました。

福祉・家事援助サービス 事業推進担当者研修会



平成23年2月23日(水)米子市において、各シ
ルバー人材センターの役員等の参加のもと、
福祉・家事援助サービス事業推進担当者研修
会を開催しました。

宇野連合会会長の挨拶の後、「福祉・家事
援助サービス事業について」と題して(社)防府
市シルバー人材センター事務局長の田中三輪
子氏の基調講演があり、その後、(社)鳥取県シ

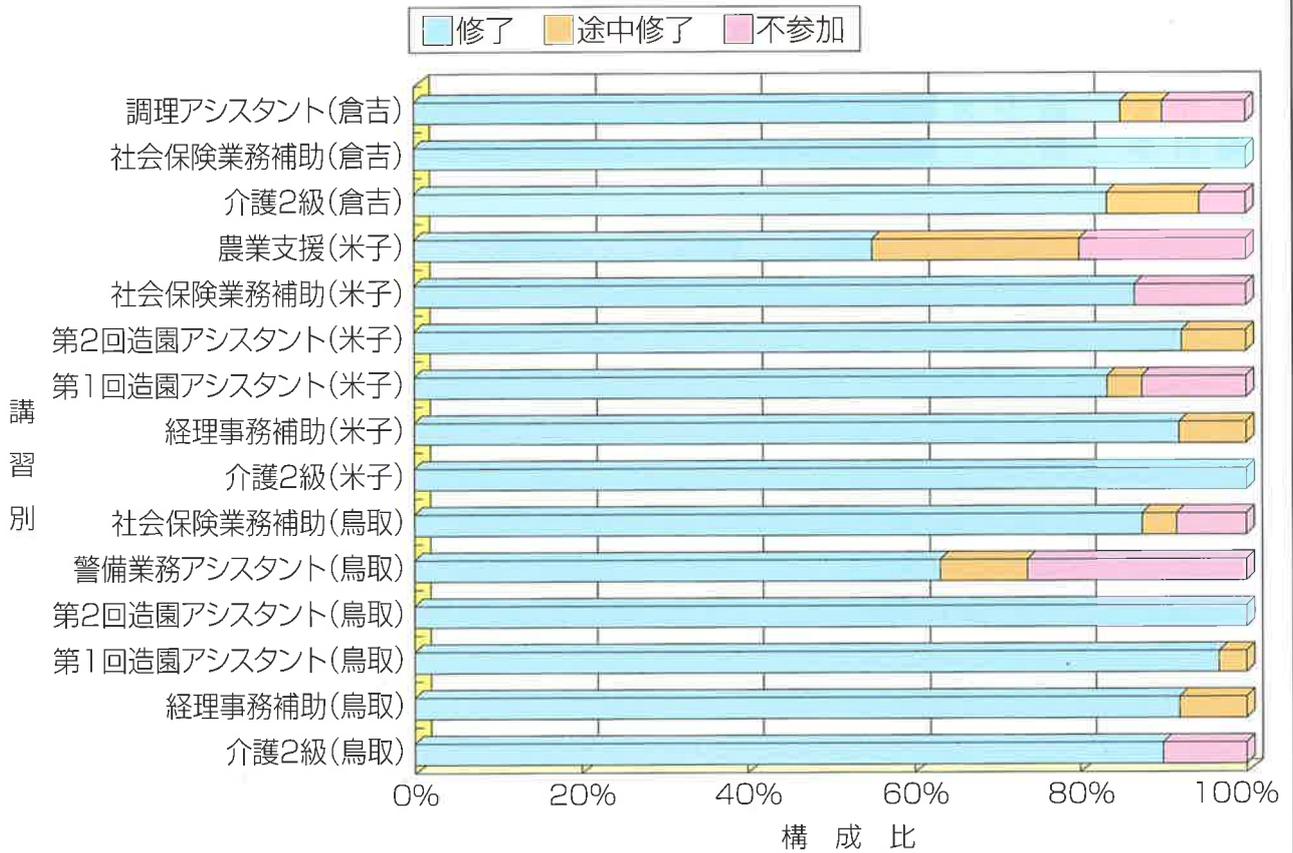
ルバー人材センター連合会の福田庶務主任よ
り全シ協主催の「福祉・家事援助サービス事
業推進担当者研修会」の報告が行われました。
発表後には、(社)防府市シルバー人材センタ
ー事務局長の田中三輪子氏に対して、防府市
シルバーで行われている「子育てサロン」に
ついての活発な質問があり、盛会のうちに終
りました。



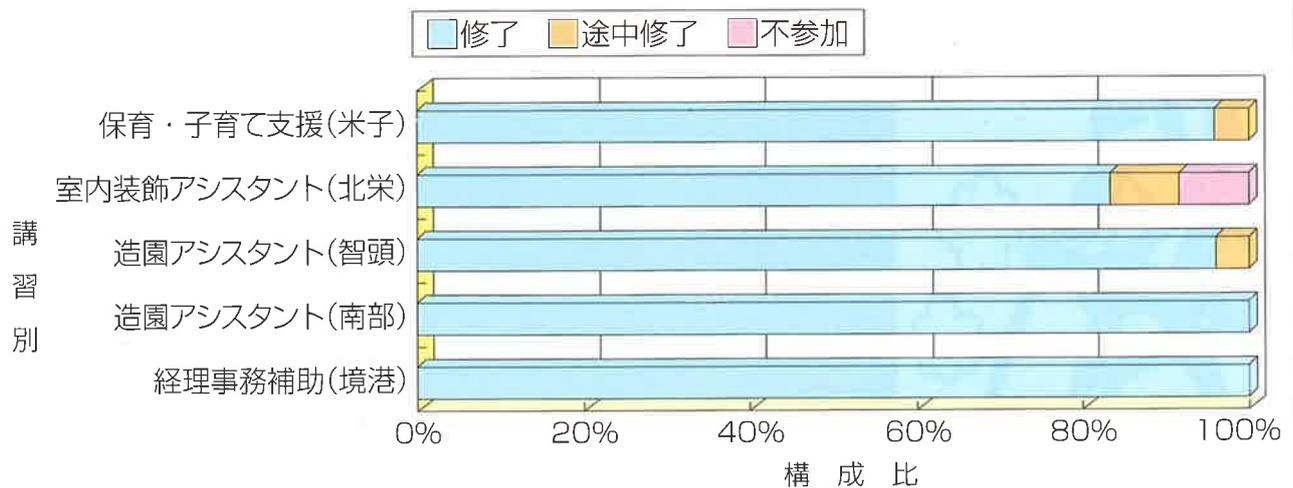
平成22年度SP講習受講者データ

	定員	受講者内訳				達成率		修了率 (修了者/ 受講者)
		受講者	修了者	途中修了	不参加	受講者/定員	修了者/定員	
長期	340	351	309	19	23	103.2%	90.9%	88.0%
短期	95	113	107	4	2	118.9%	112.6%	94.7%
合計	435	464	416	23	25	106.7%	95.6%	89.7%

受講者データ（長期講習）



受講者データ（短期講習）



平成22年度 シニア就業支援プログラム事業実施状況

平成22年度の『シニア就業支援プログラム事業』はメンバーの交代もありましたが、前年同様、コーディネーター2名、地域ニーズ開拓員2名の4名で活動してまいりました。以下、実績と主な取り組み状況について報告します。

【目標と実績】

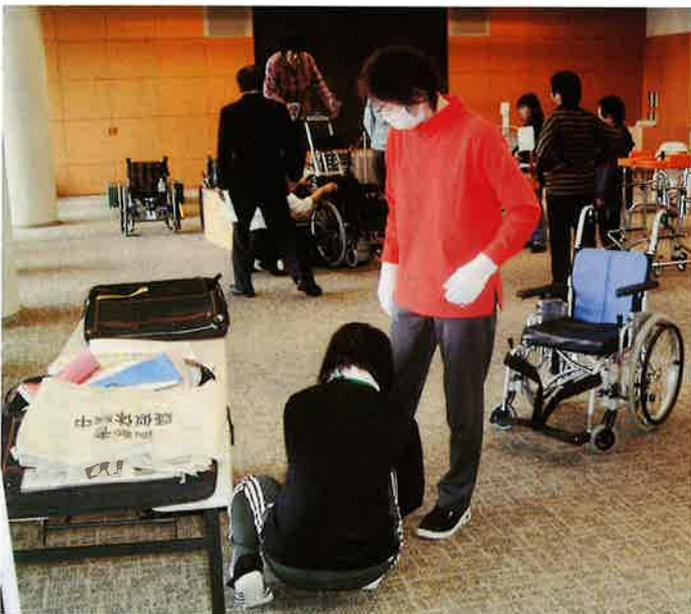
- ① 事業の登録会員数
一、〇〇〇名 ↓ 一、〇〇八名
- ② 登録者の内マッチングによる雇用・就業率 20%以上 ↓ 21% (216名)
- ③ 登録者の内ワークショップ及び就業支援講座への参加率
50%以上 ↓ 59% (595名)

と達成することが出来ました。

【主な活動】

- 4月・東、中、西部地区で相談日を設定
- 東部 鳥取市 毎月第2火曜日
- 中部 倉吉市 毎月第2金曜日
- 西部 米子市 平日
- 開催で延べ53名が来訪。
- 5月・広報資料作成・印刷
- 企業・人材会員登録申込書、SSP事業案内チラシなど作成・印刷。
- 6月・連合会ホームページにSSP事業専用ページを追加

- ・県内4市の市役所、商工会議所の機関紙にSSP事業紹介記事掲載
- ・会員募集・人材登録勧奨
(往復はがき502枚送付)
- ・SSPセミナーを求職活動実績として取扱う申請をし、認可を受ける。
- ・第1回シニア就業支援協議会開催
- ・第1・2回セミナー開催・80名受講
(鳥取市・さざんか会館)
- 7月・求人ニーズに関するアンケート調査
(第1回・175社対象)
- 8月・第3回セミナー開催・38名受講(倉吉市・倉吉交流プラザ)
- ・SSPポスター作成・配布(60枚)
- ・適性検査ソフト購入
- ・希望者自身がパソコンを使って適正評価等が出来る「キャリアインサイトMC」。
- 9月・第4・5回セミナー開催 103名受講
(米子市・米子市文化ホール)
- 10月・関連団体の合同面接会に参加して、SSP事業案内のブースを設置し、会員登録勧奨。(2回)
- 11月・第6回セミナー・ワークショップ開催・計176名受講(米子市・米子コンベンションセンター)
- ・介護の日に開催し「介護のイロハ」と「器具類の使い方」。
- 11月・事業案内チラシ、企業・人材募集用リーフレット作成(補充)



- 12月・第7・8回セミナー開催 109名受講
(鳥取市・さざんか会館)
 - 1・第9・10回セミナー開催 92名受講
(米子市・米子市文化ホール)
 - 2月・ワークショップ開催(鳥取市SC)
 - 「襖、障子、網戸の張替え講習」
 - ・第2回シニア就業支援協議会開催
 - ・求人ニーズに関するアンケート調査
(第2回・350社対象)
- 等なのですが、事業推進について労働局をはじめ、鳥取・倉吉・米子の各ハローワークや各シルバー人材センターにご指導・ご協力をいただき目標を達成する事ができました。ありがとうございました。

シルバー人材センターの紹介

(社)倉吉市シルバー人材センター

事務局長 橋本 央



倉吉市は、平成十七年三月二十二日に隣接の関金町と合併し、関金温泉など新たな地域資源も加わり誕生しました。当(社)倉吉市シルバー人材センターは、昭和六十二年十月一日

に設立され、平成二十二年
度末には
会員数四
百十八人
(前年度
対比九十
八・五%)
と減少傾
向にあり
ます。

また、
受注件数
も減少す
る中、行
政からの
緊急雇用創出事業などにより、就業率は九十三・八%、契約金額は一億五千四百六十三万円余と前年度を上回ることができました。

また、安全就業は全てに優先する重要課題と捉え、安全標語の募集・安全パトロールを実施するとともに、各職群班による「安全就業推進計画書」に基づき、安全対策を推進した結果、前年度より、傷害・賠償事故とも減少することができました。

さらに、事業運営補助金の大幅な削減によりセンター運営が大変厳しい中、事務局職員の減員、車両台数の削減等により健全な財政運営に取り組んでいるところです。



なお、一方では、公益社団法人への移行等多くの課題が山積していますが、「自立・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員の安全・適正就業と公平な就業機会の提供を推進するとともに、会員及び役職員が一丸となり、就業機会の開拓や会員の確保を図りながら、事業の拡大に向けた取り組みを積極的に展開し、地域社会から信頼され、地域社会へ貢献するセンターに向けて、事業を推進しているところです。



趣味のひととき

押し花を生きがいとして



(社)南部広域シルバー
人材センター

由良 富子

今から十数年前に地域を活性化しようと地域の人たちとともに、四国の上勝町に視察に行ったことがありません。そこで、郵便局の古い建物で地域の人たちが、押し花をしておられ、壁一面に飾られた大きな額。イチゴやぼたんの花がそのままの色で、まるで写真のように飾られていました。

それが、とても印象に残り、私もやってみたくと思ったのが、押し花を始めるきっかけとなりました。

定年退職後、何か興味を持って暮らさなければと思い、今



までこれといった趣味がなかった私は、米子に押し花教室があることを知り、すぐに申し込みに行き、教室に通いました。

そこで、いろいろな人との出会いがあり、インストラクターの資格も取れました。それからは、地域の人だけではなく、他の町の人たちとの

出会いもあり、月1回の押し花を楽しんできました。その頃から、シルバー人材センターの会員さんとの出会いもあり、催しがあるたびに作品展示をしていただき、他の人の作品に刺激を受け、意欲を燃やしたものです。

退職して、これからは自分で教室を持つて、近くの人たちと自然を楽しみながら、押し花を続けていきたいと思っていた矢先に主人を亡くし、何もかもが一転しました。

でも、趣味として始めた押し花はやめられず、以前から月1回、シルバーの会員さんと楽しみながらの押し花教室は続



けたく、退職と同時にシルバー人材センターに入会し、教室を続けさせてもらっています。年々新しい人との出会いがあり、やっついて良かったと思う今日この頃です。月1回の教室ですが、会員さんと会えるのがとても楽しみです。

これからも、私の生き甲斐として、健康に気をつけ、趣味を通じて一人でも多くの人との出会いをしたいと思っています。野山に咲いている花や木等々、見る目が変わって、あれもこれも押し花にしたいという気持ちになり、忙しい日々にも何か心の安らぎを感じる今日この頃です。



会員の広場



江府町シルバー
人材センター
事務局 中田 実

私は、地元役場を早期退職して早5年目、当初、シルバーの存在は知っていましたが、特に興味があつたわけでもなく、先輩に勧められて何となく事務局に勤め始めました。

最初にシルバーの会員さんの仕事を見たときは、「よく根気強く、大変な仕事ができるな」と驚嘆しました。それは、今でも変わりありませんが、変わったことといえば、「見る目」が変わりました。

変わった「見る目」は、最初に会員さんの仕事を見たときは、仕事をすると側から見た目。

今は、仕事を発注した側から見た目が変わってきたように思います。

シルバーの仕事は、比較的安



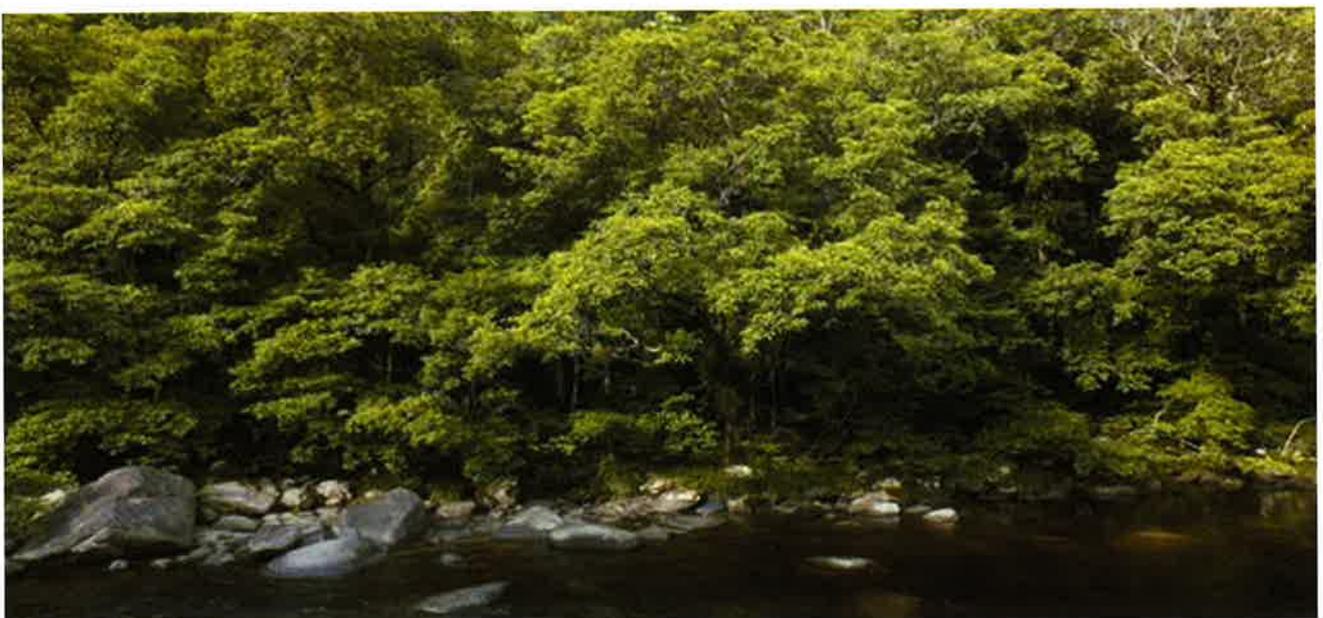
価で、丁寧という概念で仕事を発注される人が多いはずですが、時には本当にこれで、この金額をいただいてよいのか？というような出来映えの仕事も年に数件あります。当然、その場合は手直しをしてもらいますが、その仕事のやり方、手順等を聞くと、その手順等がよくない。使っている道具の具合が悪い。仕事を行った会員の体調を含めた調子が悪い等の答えが返ってきます。これは、仕事をする上で最も不適切な環境で仕事を行っているということですね。

以前、大工の棟梁から聞いた話ですが、大工の技量は「道具を見ればわかる。切れ物は、切れてこそ安全・楽・素早い仕事ができる。」
「一見、切れ物は刃が鋭いほど危険で、よく怪我をするように思うが、そうではなく、よく切れると余分な力がいらす、楽に早く、思うように切れるものである。」という。

同じように良い仕事は、よく手入れされた良い道具・良い体調とよく考えた手順の三つの環境を整えば、必ずできるはずですね。

シルバーといえば、恒例で経験豊富。会員の皆さんは、「若輩者に言われたくない。」と思わず、今一度、自分の仕事に使う身体を含めた道具を見直して、「注文をいたたく側から見た目に立った仕事をしてほしい。」と思うようになった5年目の夏です。

私を含めた会員の皆さん、手始めとして、お盆までに、一度仕事に使う車の洗車・車内の掃除・整備から始めてみませんか？



講習に参加して

経理事務補助講習を受講して

(鳥取会場)



鳥取市

井田 俊行

シニアワークプログラム地域事業として、6月16日から9日間、鳥取市の偲タツチ塾で経理事務補助講習を受講しました。

受講の動機は、定年1年前より在職中の不摂生がたたり体調を崩していましたが、3年の闘病の結果、今年に入り体調が回復してくるとともに勤労意欲が湧いてきました。

どの様な職種を求めるかと考えた場合、在職中は生産管理で改善活動を主に行っていました。今日の厳しい労働環境では求職が困難と思い、数字をいじる仕事をしていたので職務拡大として今回受講しました。

受講生は男性5名、女性21名で、今更ながらにシニアの労働意欲の旺盛さと労働環境の厳しさを



感じました。

講習内容は、ワード基本操作、エクセル基本操作、インターネット・Eメールの活用、簿記の基礎知識、会計ソフトの操作といったものでした。

ワード・エクセル共、以前から操作していましたが、使用していたのが二〇〇三年版だったため、操作ボタンの位置及び内容が変わっており、今回の実地講習が非常に参考になりました。

また、以前のワードは文書作成が困難と感じていたので、エクセルを主に使っていたが、今回実際に操作してみても、使い易くなっているのに驚きました。

講習の進め方については、インストラクターが何を、どこで、どうするかを、ゆつくりとした同じリズムで分かるまで説明されたので、習得が確実にできたと思います。

簿記の基礎知識は実質6時間の講習だったため、正直、理解は困難であったが、会計ソフトの打ち込みのための貸借対照表での資産と負債＋純資産、損益計算書での費用＋純利益と収益についての借方、貸方への仕分け区分が少し分かりました。

今回の講習を通じて、今まで自己流で習得してきたが、基本手順での技能習得の重要性を改めて痛感し、また、自己に有用な講習については今後、積極的に参加していきたいと



考えます。

昨今の求職状況は厳しいですが、教則本の付属CDを活用した自己啓発に努めながら、求職活動を進めて行きたいと思えます。

お世話になりましたインストラクターの先生方をはじめ、関係機関の皆様、講習を企画し、お世話をいただきました鳥取県シルバークンセラー連合会のみなさまに厚く御礼申し上げます。

(社)鳥取県シルバー人材センター連台会正会員

(平成23年8月1日現在)

名 称	〒	所 在 地	電 話	FAX	代表者
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051	木島敏行
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	宇野治巳
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101	中林正樹
(社)境港市シルバー人材センター	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540	0859-47-4541	西村岩市
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	安達幸男
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	小林實夫
(社)岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2512	谷口幹彦
(社)湯梨浜町シルバー人材センター	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	足立春人
(社)琴浦町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡琴浦町浦安152-3	0858-52-1001	0858-52-1004	田中 明
(社)北栄町シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227	日置勝彦
(社)大山町シルバー人材センター	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0858-53-1310	近藤昭夫
(一・社) 八頭町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3351	衣笠春寿
江府町シルバー人材センター	689-4413	日野郡江府町州河崎62	0859-75-3211	0859-75-3211	宇田川 勉
日南町シルバー人材センター	689-5211	日野郡日南町生山357	0859-82-0223	0859-82-0223	矢吹隼之
三朝町シルバー人材センター	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883	馬野忠嗣

表紙のことば

「山陰海岸ジオパーク 浦富海岸(鴨ヶ磯)」

風光明媚な海岸で、ガンの群れが遊ぶ磯であることからこの名が付けられた。

あとがき

今回も、関係各位のご協力によりまして、第25号を発行することができました。まずもって、厚くお礼申し上げます。

今年の3月11日には東北地方で大地震が発生し、それに伴い過去に類を見ない大津波による甚大な被害が発生しました。また、原発による被害も発生し、いまだに収束の見通しの立たない状況です。多くのシルバーの仲間も被災されており、私共も、自分で出来ることを何かひとつでも、それぞれの人が実行していくことが被災された方たちへの支援になると思います。

会報 鳥 取 第25号 平成23年8月発行

発行：社団法人 鳥取県シルバー人材センター連台会
所在地：〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76
電話：0859-37-2531
FAX：0859-37-2537